



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」 ～長崎県を活性化するために、会勢700名を達成しよう～

第7回 仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 開催報告

会員の皆様、4月1日～7月8日における第1期仲間づくり運動の取り組み、本当にありがとうございました。34名もの入会受付に感謝申し上げます。

7月8日締めには568名の勢い！各仲間づくり委員長は、会員企業訪問を重視し、仲間の大切さを改めて痛感しました。また、20年カレンダーの提案、他県同友会の例会参加、支部によっては、他委員会との連携勉強会等、精力的に活動されました。

県委員会としては一致団結して、仲間づくりキャンペーン3デー前に各支部・各地区例会にハッピーを着て、キャラバン！（お世話になりました）いつも気持ちを一つに拳を握り、支部長はじめ役員各位から働きかけていただいた結果、全会員の皆様の熱い意気込みを感じることができました。



7月6・7・8日の仲間づくりキャンペーン3デーの意義は、会社で言えば決めた期日、売上げ報告の締日と同じです。自ら立てた目標の達成に向けて刺激し合う瞬間です。実は、期首からの総決算として、そしてまた翌7月9日からスタートする第2期仲間づくり運動のためにも、役員の方々を中心にじっくりと仲間づくりの意義を考えていただくと共に、現状認識しあっていただくことを趣旨とした3デーでございました。まだまだ、仲間づくり委員会は皆様の為、目標達成の為、発展してまいります。ただ、コツコツと日々、仲間づくりへの意識があれば積み重なるのだと思う毎日です。各支部まだいらっしゃる職種の方々を探してみてください。すべての職種を網羅してもらい、連携していただくことが最高の目標と思えて



目次

第7回 仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 開催報告	1	事務局企業訪問	15
7月例会報告	2	シンポジウム「長崎県のアジアビジネス最前線」参加報告	16
第47回 定時総会 IN 岩手 参加報告	9	会員活躍	17
政策委員会 長崎県産業労働部との意見交換会 開催報告	11	入会・交代会員紹介	17
第18回 女性経営者全国交流会 in 岡山 参加報告	12	9月例会案内	18
第1回 新入社員フォローアップ研修会 開催報告	13	理事会議事録 抜粋	19
第1回 中同協広報委員会 参加報告	13	会員消息・会員数	20
社会福祉法人 宮共生会（佐世保支部 原田会員）経営計画発表会 参加報告 ..	14		



きました。

月に一度、我々仲間づくり委員会は委員会を開催し、毎回、熱い議論を重ねています。各支部・各地区会の委員長の出席率も回を重ねるごとに向上し、仲間づくりへの意識が浸透していることが理解いただけると思います。委員会での提案や決議に関して

は各支部・各地区会で同調していただいているものと確信しています。

最高会勢を更新し続けている長崎同友会。是非とも今期700名を達成し、1,000名への勢いを確立させようではありませんか！

(文責 仲間づくり委員長 杉本 誠二郎)

第7回 仲間づくり県下一斉 キャンペーン結果発表!!

●支部・地区会賞

- 1位 諫早支部 (増率15.9%)
- 2位 北松浦支部 (増率 8.9%)
- 3位 佐世保支部 (増率 8.1%)

●スポンサー賞

- 1位 諫早支部 張本 洋二 会員 (5.5名)
- 2位 諫早支部 杉本 誠二郎 会員 (3名)
- 3位 佐世保支部 松尾 慶一 会員 (3名)

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	7月22日(水) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	人材問題を解決したい ～今からできる人材育成の基本と今後の対応について～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 (大村支部)



コンサルタントの立場からの報告ということで私自身、非常に興味深いものでした。

宇土さんは先輩の誘いを受けコンサルタント会社へ入社されました。経営の経験はなく「コンサルタントの自分はそんなに偉いのか」という思いを抱きながら知識を武器に経営者と議論していたそうです。そんな中、顧問先の建設会社社長より幹部(経理・人事)としてのお誘いを受け転職。人事制度の再構築や多くの社員を採用し貢献されましたが、方向性の相違を感じ悩みます。考えた末、今なら経営コンサルタントとし



て支援できると確信し、現在のコンサルタント会社へ移られたそうです。

転職後、最初の新卒面接会の時「御社は私が入社したらどんな教育をしてどういう風に育ててくれますか？」という問いに対して返事が出来なかったそうです。それは“人材育成計画”が無かったからだと言われました。

新卒者の多くは“楽しく(好きな)・やりがいのある(認められる)・任せてもらえる仕事がしたい”という就職観があるようです。宇土さんはこのような条件を満たすには“人事制度”(モデル賃金・職能資格等級・評価制度)が必要だと言われました。

この制度は資格等級があり、役職に就くにはどの位置まで行けばよいか、その等級になるにはどのような知識、経験、資格が必要か明確になっています。

また、“会社はビジョンを描く”ことが大切であるということです。すべきことをまとめ、その中に人材育成計画を盛り込むことで方向性を示します。そして、社員が人生設計をイメージでき、この会社で自分

の人生を賭けられる希望を持たせることが重要だとおっしゃられました。そこで出来ることは“経営指針”を作ること、その経営指針は「会社の将来と社員の人生を結びつける役割である」ということでした。

グループ討論も中身の濃いディスカッションができ、座長の中尾さんの素晴らしいまとめで終了しました。

「よい経営者」への手掛かりがまた一つ見つかった充実した例会でした。宇土さんありがとうございました。

(文責 平野 圭司)



長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	7月15日(水) 18:30
会 場	メルカつきまち
テ ー マ	学生で突然経営者になって ～学生から今までと未来への希望～
報 告 者	(有)サンエイフーズ山口 代表取締役 山口 武啓 会員(島原支部)



山口さんは関東学院大学3年生のときに創業者であるお父様が2年間の闘病生活の末他界、お母様とともに会社を引き継ぐこととなり、大学生の身でありながら突然経営者となりました。大学4年生の1年間は、学業と仕事との両立という生活となったそうです。

卒業された数年後、代表取締役に就任することとなりましたが、通常の事業継承と違い、業務や人脈などの引継も全くありませんでしたので全てが手探り状態でのスタートでした。

学生でありながらの突然の経営者就任でしたので経営の「いろは」も分からない状態でした。山口さんは、持ち前の「行動力」と「人懐っこさ」で、様々な経営や経営者の勉強会に参加され、会社経営について多くの経営者と話し、学び、独自での人脈も築きあげてきました。その中で、同友会とも出会い、昨年度からは県のビジョン委員長も務めておられます。

報告の中で、山口さんはチャレンジする事の大切さを具体的な例もあげて語ってくださいました。山口さんの経営する会社は食品卸業ですが、現在は、製造元

と販売元との橋渡し(企画業務)に力を入れ、PB商品・OEM商品の開発・販売を行っているそうです。また、海外進出も視野に入れ勉強されていました。中小企業も他社との連携や海外進出の必要性が謳われている昨今、その具体的な話に、例会に参加された皆さんは熱心に耳を傾けていました。また、チャレンジし続けていく中、何度か大きな危機に見舞われますが、危機を乗り切る鍵は「人の援助、人との繋がり」であったと山口さんは話されていました。自分の力で築き上げた人脈のみならず、お父様の知人が危機を救ってくれた事もあったそうです。

時代のニーズに合わせる「チャレンジ」また、それに必要な「人との繋がり」これからの中小企業の生き残るための会社の在り方として多くの事を考えさせられる実りある例会となりました。

(文責 中原 一也)



大村支部 例会報告

日 時	7月23日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	激論！大村を元気にするのはオレたち(中小企業家)だ！！
報 告 者	パネラー 大村市長 松本 崇氏 大村青年会議所 理事長 小柳 伊佐義氏 大村商工会議所青年部 会長 野中 哲也氏 長崎県中小企業家同友会大村支部 政策副委員長 時 忠之 会員 コーディネーター 長崎県中小企業家同友会大村支部 政策副委員長 北村 貴寿 会員



まず本題に入る前に大村市の事を改めて知ろうということで、人口の推移や若い人たちの未婚率などのデータを用いて現状を認識することから始まりました。このままの現状でいけば、老年人口は緩やかに増え続け、労働人口は2020年を境に減少し始めるといった予測が出ているそうです。他にも、進学や就職で10代や20代前半の若者の都心部への流出が目立ったり、20～30代の未婚率が男女ともに40%前後であるという問題が提示されました。しかし現状、具体的にはどのようなことをすればいいのかわからない。ここで初めて、激論の開始です。

まず1つ目の議題は「大村の魅力」についてでした。大村市は土地も比較的安く、空港もあり、非常に住みやすいという意見や、商業的にみれば大村は県央に存在するのでアクセスの面で効率がいいという意見が出ました。他にも、大村湾はとても穏やかなので、親水性がよく、海の前に住宅が並ぶという珍しい景観を持っているなどの意見を聞き、大村のアピールポイントを再発見することが出来ました。

2022年に新幹線も完成し、交通の便がさらによくなった後、何が必要になるのかというのが2つ目の議題でした。そこでは、医師の数が多く土地も安いので、滞在型の病院を造るべきだという意見や、観光客にはあくまで観光ではなく住みやすさをアピールするべきだという意見、さらには大村のおいしい魚を使っ

た「大村丼」といったような大村ならではのブランドを全国に発信するべきだという非常に面白い意見なども飛び出していました。

3つ目の議題は会社を元気にするための「人材」についてでした。景況調査でも、人材育成に関してはどの企業でも頭を抱えているほどの問題で、中でも若い新入社員たちはすぐに辞めてしまう傾向が強いとのこと。一人の人間を人間として一流にするためにはコストも時間もかかります。しかし、4名の議論を聞き、人の役に立つことの喜びや生きがいなどを仕事の中に見出すことができれば、社員たちは成長していくのだと改めて感じる事が出来ました。中でも松本市長は「サービスwithスマイル(笑顔で奉仕)」「スピードアップ(結論を早く出す)」「システム(組織を形作って、連携を取る)」の3つを市職員に徹底させることの重要性を、声を大にして私たちに伝え、参加者全員もその話にすっかり聞き入っていました。

その後のグループディスカッションでは、どのように大村を盛り上げていくかというテーマで、きれいな大村湾を利用したリゾート化や、スマホアプリとの提携などの非常にユニークな意見が飛び交いました。

今回の例会は参加者もオブザーバーを含めると80名超となる規模の大きいものとなりました。それだけに、普段とはまた一味違う有意義なものに感じました。大村市と中小企業家同友会、2つの未来に新たな可能性を感じる例会となりました。

(文責 湯浅 徹(能塚 由久 代理))



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分10円となります。ご利用お待ちしております。

諫早支部 例会報告

日 時	7月22日(水) 18:30
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	経営体験報告 会員は辞書の1ページです。 第5弾 ～当社はこんな仕事を行なっています。～
報 告 者	たなか司法書士行政書士事務所 所長 田中 幸実 会員 (株)エフエム諫早 局長 太田 陽 会員



田中さんの報告では、司法書士、行政書士とはどんな仕事をしているのか。日頃接する機会の少ない司法書士業務、行政書士業務についてお話をいただきました。

感想として、やはり聞きなれない言葉ばかりで、難しいという声もありましたが、今後、分からない事があったら田中さんに相談したいという会員さんが多くいらっしゃいました。田中さんは、諫早で唯一の女性の司法書士であること、また簡裁訴訟代理という資格を強みとして、現在活躍されています。

同友会では、総務委員長としても活躍されている田中さん。2年前に役員になられてから多くの会員さんと接する機会が増し、参加するたびに同友会の素晴らしさを実感できるようになられたそうです。

今回の報告にあたり、今までした事がなかった業務分析をすることが出来たと話されていました。報告者が一番得をする同友会。まさに田中さん自身が実感されたのではないかと思います。

次に、太田さんの報告です。エフエム諫早の局長をされており、ラジオパーソナリティとしても活躍されておられます。

延岡出身の太田さんが、音楽活動をするため長崎へ。フリーになったことをきっかけにエフエム諫早パーソナリティとして入社され、平成26年1月に局長に就任されました。

話し方がとても素晴らしく、声も大きく聞き取りやすい。また、聞く方を飽きさせないような話し方はさすがプロ！でした。

太田さんは、とにかく地元諫早を元気にしたい！と

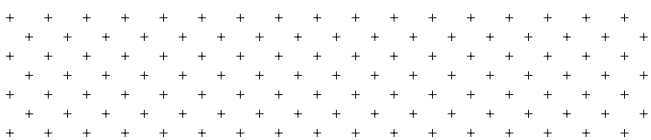


いう思いが強く、電気、水道、ガスと同じく、エフエム諫早は皆さんのライフラインになりたい！との思いを話されていました。

同友会には4月に入会され、中小企業が成長することで、諫早市も成長出来る。同友会では、情報発信や地域の方々への架け橋となって、地域活性化や会員企業の発展の力になりたい。と力強く話されていました。

懇親会では、太田さんがギター演奏と素晴らしい歌声を披露して下さったり、1名のゲストの方が入会表明をされたりと、懇親会も大変盛り上がり、今回も大変有意義な例会となりました。

(文責 廣谷 慎也)



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/ jimu@nagasaki.doyu.jp



島原支部 例会報告

日 時	7月21日(火) 19:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	ネット時代に敢えてアナログ経営 ～商品を売らずに自分を売ろう!～
報 告 者	MAC TOOLS平湯 代表者 平湯 康一郎 会員



今月の例会は、MAC TOOLS平湯の平湯康一郎さんに報告していただきました。今まで自分が積み上げてきた経験と、それをもとに今の自分の営業への考え方、営業訓を語っていただき、今後のビジョンを報告いただきました。

MAC TOOLSとは、米国創業の会社で自動車やバイクなどの整備工具の製造販売を行い、1980年日本初上陸。テリトリー制のバンセリングビジネスを展開。現在国内で動く移動店舗「MACバン」が140台活躍していて、永久保証のあるハンドツールをはじめ、電動工具、エアーツール、工具箱からアパレル商品までアイテム数約10万点を販売しています。

平湯さんは中学卒業後、解体業や寝具販売業など経て、中古車販売業へ転職。そこで人生の師匠と呼ぶ社長との出会いがあり、大きな影響を受けることとなりました。その後、故郷南島原市へ帰郷し、憧れのあったMAC TOOLSの販売代理店をめざし、独立支援制度を利用し入社。一年後独立し、MAC TOOLS



平湯を開業。わずか2年目にしてMAC TOOLS販売代理店で、国内第2位という実績を残し、今月開業2周年を迎えました。

座長の荒木博さんの報告者紹介からまさに勢いのある報告が始まり、平湯さんが師匠と呼ぶ中古車屋の社長に、時間の大切さや、失敗の原因は優柔不断と先延ばしである事など、当時学んだ事が今自分の糧となり、ルートセールスで自分を売り込む今の営業の考え方に影響を与えている事などを熱く語っていただきました。クレーム対応もチャンスととらえ、前向きに対応し、営業に於いても自分がいつか必要とされる時が来る事を信じて訪問を続ける姿勢に大変感心させられました。今後のビジョンを数値化し明確にされており、今一番勢いのある平湯さんそのままに活力あふれる報告となりました。最後に、目標を達成し、開業から一緒に支えてくれた奥様に旅行をプレゼントしたいということで締めていただきました。

(文責 北浦 雄一)



佐世保支部 例会報告

日 時	7月17日(金) 18:30
会 場	佐世保市民会館会議室
テ ー マ	人生の大海原。失敗も成功もまた楽し。笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ ～目の前に現れた救世主。同友会はパワーの源と羅針盤だ～
報 告 者	スギセイフーズ(有) 代表取締役 杉本 誠二郎 会員 (諫早支部)

今期、佐世保支部は、「同友会を知ろう」をスローガンに例会運営を行っています。そこで、今回は、県の仲間づくり委員長である杉本誠二郎さんに、報告をしていただきました。

すでに各地で報告をされている杉本委員長。杉本さんとは、数年前佐世保で開催された「同友会を知る会」



で初めて出逢いました。その頃からいつも笑顔で気さくで元気のいい人だなと言う印象を持っていました。今回、杉本さんの話をきいて、実は大変な苦労をされていた事、その時に支えてくれた人たちの言葉に今の笑顔がある事を知りました。



今回座長は、諫早支部の村山和幸さんでした。佐世保支部では例会の最後に座長の総評があります。その総評がたいへんよかったので、以下採用させていただきます。

『杉本さんが行った中国への起業失敗。今の杉本さんからは想像すらできませんが、今から9年前のことです。失意の中、再開した得意先回り。しかし夢も希望も見えない中で、目の前の利益だけを追い続ける姿に、以前の明るい杉本さんはありませんでした。そんな時、取引先の社長さんから言われた一言。「毎日千回、ありがとうを言いなさい。」この言葉に秘められた思いは何だったのでしょうか？私はこの話を聞いた時、良く企業の社員教育に使われる「天秤のうた」という映画を思い出しました。この映画を鑑賞した方も多と思います。この映画の内容は割愛しますが、その映画と同じで商売の原点は何かということです。人や物事への感謝する気持ちがなければ…。いや、商品すべては、いつでも相手に伝わりません。物を売るのではなく、想いを売る。ということだということ。この社長さんは伝えたかったのではないのでしょうか？皆さんはどう思われたのでしょうか？皆様にも人生の転機となった出来事や会社を経営する上で大事にしている座右の銘、こだわりや方針等があると思います。それはそれぞれ違うと思いますが、皆さんの商売の基本は案外そう変わらないのではないのでしょうか？

杉本さんは同友会入会后、中国の失敗を振り返り、



失敗は運が悪かったのではなく、必然だったという事を学びました。それは突き詰めていけば、経営理念や経営指針の必要性に行きつくことになりますが、それだけではありません。もし、杉本さんが中国へ行く前に的確なアドバイスをする人や経営について何でも相談のとれる環境があったならば、杉本さんの過去は変わっていたのかもしれませんが。今、そんな経営者同士、自社の悩みを分かち合える同友会の仲間を、杉本さんが先頭になって募集しております。

昨年度、県の仲間づくり委員長を拝命し、2期目の今年。全力投球しております。持ち前の明るさとパワーで目標の会員数700名を目指して必死に頑張っております。どうぞみなさんも経営者同士悩みを相談できる同友会仲間を杉本さんと一緒に増やしましょう。』

杉本さん、村山さんお二人のご尽力に感謝するとともに「ありがとう」と最後を締めくくりたいと思います。

(文責 永末 勝宏)

北松浦支部 例会報告

日 時	7月15日(水) 19:00
会 場	池野酒店 セミナー室
テ ー マ	楽しく、継ぐ ～自分の会社を面白くするには～
報 告 者	(有)山崎マーク 専務取締役 山崎 秀平 会員

例会には佐世保支部の会員の方が多く参加され、山崎さんの人柄の良さ、そして佐世保支部皆さんの団結力を強く感じました。

報告では、大学卒業後、家庭の事情で事業を継ぐことになり、当初は、自分の会社がカッコ良いと思えない、事業を継ぐのはダサいという思いが強く、親の敷いたレールに乗ることへの抵抗感があったそうです。しかし、同友会会員の皆さんからの意見で前向きになることが出来、前向きになったことでチャンスをつかむことを考えたそうです。



そこで見えてきたふたつのチャンス。ひとつ目は2014年がんばらば国体での出店、山崎さん是有名ブランドが戦場としていないお子様用のサイズや可愛いデザインのトートバッグなどで結果を出し、戦い方によっては有名ブランドとも充分に戦える事がわかったそうです。

ふたつ目は、今年行った経営計画の発表。すぐに結果は出てこないが、実行に移したことで、会社がどう



あるべきか、社員がどう考えているのか、会社全体が把握でき、本当に良かったということでした。

最後に、事業承継について、創業者をゼロから新しい

物を創り上げ現代音楽の基盤になったビートルズに、承継者を、あらゆるジャンルを組み合わせることができるDJに例えられました。単純に継ぐのではなく、自分の個性と時代のニーズを見極めながら、バランスを取って会社を創って行くことが重要であり、また、好奇心を持ち、同業者、異業種問わず色々なアイデアを見つける嗅覚を持つことも重要であると言われました。

グループディスカッションでは創業者の視点で、『2代目に取り組んで欲しいことは何ですか?』、承継者の視点で、『自分の代になったらチャレンジしようと



思っていることは何ですか?』の二つの視点で話し合い、参加者それぞれの立場と視点で活発な意見が出され、素晴らしい例会になりました。

(文責 山之内 英樹)

青年経営者会 例会報告

日 時	7月28日(火) 19:00
会 場	同友会事務局
テ ー マ	マイナンバー法とは!?
報 告 者	植木博路法律事務所 所長 植木 博路 会員(長崎支部 浦上地区会)



7月の例会は、最近テレビや新聞などでよくみられるマイナンバー法の勉強会として、植木さんに「マイナンバー法とは!?’というテーマでご報告いただきました。

来年1月からスタートする制度ですが、こういった内容の法律で、企業にこういったことが求められるのかがなかなかわかりにくいところもあり、その足掛かりとして基礎中の基礎を知ろうという目的で開催しました。

個人個人に番号が付き、その個人番号に様々な情報が紐付けされる制度ですが、公平・公正な社会の実現や行政の効率化といった効果が期待される反面、情報漏えいがあった場合の被害や、なりすましで情報を悪用される可能性も考えられるといったことや、そのた



め、個人番号を扱う全ての企業に対し厳しい規制が課されるということでした。また、社員の個人番号の管理やそれに関する規制、もし情報が漏れたりした場合の罰則なども紹介され、法律の基礎といっても想像以上に内容が幅広く深いもので、例会に参加した会員からは事業主としてどこからどこまで社員の番号を管理しなければならないのか、情報管理は誰がしないといけないのかなど多くの意見や質問が飛び交い、予定していた時間では足りないくらい盛会となりました。

今回は基礎編にもかかわらず内容が濃く、知れば知るほど疑問に思うことがたくさんあり、この制度がスタートするまでにさらに知識を深めないといけないことや準備しなければいけないことなどに気付かされた大変有意義な例会となりました。

最後に、9月7日に長崎商工会議所2階会議室において「マイナンバー制度開始までに何をすべきか」というシンポジウムが開催され、コーディネーターを植木さんが務められます。14時からの開催で、参加費無料・予約不要となっておりますので、お時間があられる方はぜひご参加していただければと思いますのでよろしくお願い致します。

(文責 吉川 裕也)

第47回 定時総会 IN 岩手 参加報告

人を生かし、企業を変え、 持続可能な地域をつくろう！

～エネルギーシフトで自主的・平和的な日本の未来を～

開催日：7月9日(木)・10日(金) 会場：マリオス・盛岡地域交流センター他

第2分科会

確かな情勢認識で時代に立ち向かう

国と地域の再生示す

『日本経済ビジョン』(討議資料)

京都大学 大学院教授 岡田 知弘 氏

大村支部 金井 政春

中同協主催の三大行事の一つである定時総会が地方都市開催の最後である事。又、岩手県にはこの機会に行かないと我が人生において行く事が出来ないだろうとの思いで参加を決意しました。飛行機で東京まで1時間40分、東京から東北新幹線にて2時間20分で盛岡につき思いのほか近かったです。

京都大学院教授の話は中々聞く機会がないだろうとの思いと、昨年「日本創成会議」において「増田レポート」では約900の自治体が「消滅」する可能性があると発表されましたが、岡田教授は否定されています。人口減少、高齢化社会、労働力不足、技術力の低下、生産性の低下、採算性の低下等に非常に不安を抱えていた私にとって画期的な対策法が聞けそうとの強い思いでした。

報告の内容は 1) 情勢を正しくとらえること①マスコミ情報は信頼できるか ②情報は操作されたおそれはないか ③マスコミ情報で作られた「常識」を鵜呑みにしない 2) 中小企業の見地から日本経済を展望すること①地域の視点 ②自然との共生の視点 ③人間らしい暮らしの視点 ④互惠的交流・連携の視点 ⑤能動的・主体的な視点 3) 中小企業・地域の視点



から日本経済をとらえ直す ①「アベノミクス」・地方創生が国民生活や地域社会の豊かさに結びつかないワケ ②日本経済をつくる基盤は地域経済、地域社会・社会をつくる最大の主体は中小企業 ③地域内再投資力と地域内経済循環で地域を豊かにする ④地方自治体と中小企業との連携の重要性 4) 日本経済の7つの発展方向と地域中小企業の役割 ①多様な産業の存在と中小企業が発展の源泉 ②「国民一人ひとりを大切に作る豊かな国づくり」のための内需主導型経済 ③地域内経済循環を高め、地域資源を生かした地域経済の自立化 ④エネルギーシフトで持続可能な社会 ⑤若者が人間らしく働くことができる環境 ⑥大企業の社会的役割・責任が十分に発揮される社会 ⑦成熟社会とグローバル化に対する新しい仕事づくり、産業づくり 以上が報告の主な内容でした。

地方創生で内需拡大型社会を構築する必要性を感じました。その為に中小企業憲章の推進、中小企業振興基本条例を生かした地域づくり、地方自治体、地域金融機関と連携し、同友会活動を通じて学びを深め、自社の経営基盤の強化を図り地域に貢献できる企業づくりを目指したいと思って帰ってきました。

V・ファーレン長崎



V-FALCONS
NAGASAKI

応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

テレビCM撮影 ¥50,000 ~

LINK

株式会社リンク
長崎市興善町4-1 興善ビル7階
TEL.095-820-8344 pref@link-co.jp

会員企業様のプロモーションDVDを作成します。(撮影5時間)

¥200,000

別途、ドローン(ラジコンヘリ)による空撮
¥30,000

※税別



島崎 和紀 会員(大村支部)

第14分科会（パネルディスカッション）

強じんな同友会運動にするために

役員と事務局が
パートナーになっていますか

パネリスト

(株)ヒロハマ 代表取締役会長
中同協 幹事長 千葉同友会 会長

広浜 泰久 氏

中小企業家同友会全国協議会 副会長

国吉 昌晴 氏

福島同友会 参与(前事務局長)

豆腐谷 栄二 氏

コーディネーター

中小企業家同友会全国協議会 事務局長

平田 美穂 氏

同友会事務局 峰 圭太

中同協第47回定時総会に参加するため岩手に伺いました。全体会、議案提案が滞りなく終了した後、分科会が開催されました。

企業づくりのための同友会運動、リーダーについて、事務局について、財政基盤の強化とレジュメに従って進行、最後に地域と未来を展望する同友会運動へ、と結ばれた報告でした。

総じて、①人間性・社会性・科学性のループを行い甘やかすことのない人間尊重経営を目指す ②事務局が同友会運動の主体者としての責任を持つ ③会員企業の成功が事務局員の喜び、モチベーションアップである ④役員と共に継承と変革を続け常に新たな運動の提起を行う ⑤同友会商品に磨きをかけ、自然に会勢が伸びる組織をつくる ⑥役員と事務局が先頭に立ち人が活きる運動を進めるといった内容にまとまります。そのためには会員企業の黒字化に特化した動きが必要であり、事務局の労働環境を今一度見直し、事務局員が幸せな人生を設計できるよう、代表理事をはじめ



め、役員と表裏一体の関係を構築することが大事であるという点がグループディスカッションを通じて確認されました。

最終的には平田事務局長が①自己変革と生きがいの場である同友会として役員と事務局が本音で語り合いあう事 ②代表理事と事務局長が表裏一体になっているか、主体者になっているかという互いのチェック ③地域を支えていくプロセスの中で地域に根を張る「植物」として会員企業が成長し地域の資源となること、以上の3点でまとめ分科会は終了しました。

2日目の議案採決後、岩手：八木澤商店会長：八木澤和義さんから震災時、震災後、息子さんの成長と同友会の関わりについての話がありました。被災地としてご苦労がありながらも前を向いて歩まれてきた皆さんの想いを見聞きし、人の強さ、同友会の存在価値を強く感じました。

地方開催最後の岩手総会。またたくさんの気付きと決意を持ち帰ることができたと思います。今後は同友会理念と今期作成した事務局理念を軸に、基本がぶれない事務局体制を構築し、役員はじめ会員各位と共に成長していくことに喜びを感じる自分でありたいと思います。

第15分科会

持続可能な地域づくりをめざして

それぞれの企業、
地域で実現するエネルギーシフト

信幸プロテック(株) 取締役会長
岩手同友会 代表理事

村松 幸雄 氏

佐世保支部 松尾 慶一

今回の定時総会に参加した動機は、5月の九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会in鹿児島でのエネルギーシフトに関する講演を聞いて、小さな村でも取り組める省エネに興味を覚えたからです。故に第15分科会を希望しました。

私にとって、これまでで初めての見学分科会です。

た。全体会終了後にバス移動、岩手県紫波町の活性化の説明を町職員から移動中30分聞きながら先月OPENしたばかりの、日本最大の木造3階建て役場庁舎に到着しました。当然、地場産材で作られていて、図書館、エネルギー供給施設やそれらと共存する行政施設や複数の飲食店が整然と立ち並んでいました。JR紫波中央駅から町庁舎まで整備されていて新築住居も地場産材を利用し盛岡市の衛星住居地域としてまちづくりを進めていました。それは公民連携専攻の定義に基づき町の未来を託したチャレンジでした。人口3万4千人の財政赤字No.1の町がどの様に再生したのか？それは、平成10年の行政課題からスタートしたそうです。そして、平成12年、紫波町循環型まちづくり条例を制定し新世紀未来宣言を発表しました。平成17年から協働のまちづくりを発令して地産品の

アピールを推進しました。平成19年より公民連携によるまちづくりを政策に掲げて東洋大学大学院と協定し、町の30年計画の具現化を開始します。「未来にわたって人、素材、文化、資金が“循環”するまち」更に都市と農村の暮らしを愉しみ、環境や景観に配慮したまちづくりを表現する場にします。の理念のもと平成21年に自治体出資法人オガール紫波（株）を創立しました。成長するという意味の「おがる」フランス語の駅「ガール」を組合せ『オガール』と言う言葉を合言葉に町の活性化を推進しています。

オガールプロジェクト（紫波中央駅前都市整備事業）で建設された、官民複合施設がオガールプラザという地場産の木造大型施設です。従来型のショッピン

グモールなどによる集客ではなく、町と民間の協働による複合施設の為、生活コミュニケーション広場として活用され集客も伸びています。この町の成功事例を長崎県の市町村も見習って行けば凄い成果が期待できるのではないかと感動しました。

二つ目の見学は、小岩井農場でした。3,000haという広大な農場の歴史と、そこから生まれたバイオマスによる循環型社会の創造は大規模ながら見ごたえのあるものでした。小岩井の名前の由来も非常に勉強になりましたし、(株)バイオマスパワーしずくいでのビジネスモデルは、長崎県に活かされる可能性が有ると思いました。



政策委員会 長崎県産業労働部との意見交換会 開催報告

日時：7月24日（金） 会場：松藤プラザ「いきいき」えきまえひろば

「いや～、驚きました。この意見交換会に私は初めて参加しましたが、自分の会社のことだけではなく、地域みんなが一緒に元気になるんだ！そのためには我々は何をしたらいいのか？と熱く語る経営者の方々がこんなにたくさんいる。そして皆さん、なんと元気があるのだろう。」最後の「総括」で、長崎県産業労働部を代表して発言された、産業政策課 参事 吉村さんの言葉です。

2015年度第1回長崎県産業労働部との意見交換会は、県産業労働部からは、産業政策課長の下田さんをはじめ、雇用労働政策課、食品産業・産地振興室、商務金融課、グリーンニューディール推進室、そして企業立地課から11名が参加、私たち長崎同友会は、松尾代表理事をはじめ、各支部から支部長や政策委員長を中心に25名、そして1名のオブザーバーの方も参加、峰事務局次長を含めて総勢40名の熱い盛り上がりとなりました。

今回は、「人」をテーマに、最初に、私が、「人材確保」や「人材育成」などについて中小企業、小規模事業者の現状、そして長崎同友会の取り組みなどを問題提起、続いて、産業労働部 雇用労働政策課



課長補佐 都野川さんから、県内の雇用情勢等の報告、そして同じく雇用労働政策課 企画監の土井さんから、産業人材育成の取り組みと「長崎県産学官コンソーシアム」の設置についての説明がありました。

報告を受け、同友会スタイルでのグループディスカッションに入り、6グループに分かれ、『人』に関する共通課題と、その解決策につながるアイデアとは？「人が活気づく長崎県になるためには」をテーマに活発な討論が続きました。

県内の生徒とその保護者に、地元の中小企業のこと



をより知ってもらうPRや、働くことの意義を伝える授業や職場体験・職場見学会の開催、県内の大学との連携などのアイデア、同友会企業の共同求人などの早期実施、そして共同で行う社員教育の継続などの意見が発表されました。熱い討論が続き、ディスカッションとその発表の時間がやや足りなかったかと反省をしているところです。

総括の後、岩崎会員の店ボンボヤージでの懇親会は更に盛り上がり、交流も深まり次回開催への期待の声が多数上がっていました。

少子高齢化に伴う人口減少社会に突入する中、地方は都市部への人口流出などにより、さらに経済縮小傾向が加速しています。この厳しい状況の下、私たち中小企業家の元気が、私たちの街に元気を取り戻していくのだということを再認識した1日となりました。

(文責 政策委員長 宮田 正一)



第18回 女性経営者全国交流会 in 岡山 参加報告

開催日：6月18日(木)・19日(金) 会場：岡山全日空ホテル・岡山コンベンションセンター

第3分科会

「お総菜残業はイヤです」の一言が、会社を変えた

ゆるキャラ®たちを生み出す女子力の現場

KIGURUMI.BIZ(株) 取締役工場長 加納 ひろみ 氏
宮崎同友会会員

長崎支部 浦上地区会 吉澤 健

中小企業にとって、経営資源の中でも「人」は何より重要です。社員さんが自主性を発揮できる全社的な仕組みをつくり、実践をつづける宮崎同友会 加納ひろみさんから学びました。

熊本県の「くまモン」をはじめ全国の着ぐるみを手掛け、年間250体を製作、40名の社員さんの中で、20名が43名の子供を抱えています。

ゆるキャラブームに乗って会社は急成長しますが、その陰で社員さんたちの悲鳴が、『お総菜残業はイヤです』残業が終わって保育園に迎えに行き、帰って夕飯の支度をしては、お腹を空かした子供たちはもう待てません。残業するとお惣菜を買うことになる。子供たちに夕飯を作ってあげたい。

子供を抱える社員さんのアンケートから、『残業がなくて、いつでも休めて、働き甲斐があって、学べて、

成長できて、子供たちの自慢で、おしゃれで、素敵な先輩たちがいる』これが理想の職場のようです。

火曜日と金曜日を残業無しにすると、決められた時間で決められた納期に着ぐるみを製作する為に、一人ひとりが改善に向けた努力をします。

有休カレンダーと生産工程カレンダーを連動させると有休取得がアップします。残業時間は10分の1となり、定着率も良くなり職場全体が変わりはじめました。

ゆるキャラの作り手である社員さんたちに笑顔があふれると、お客様にも必ず笑顔が届けられると加納さんは言います。

グループディスカッションでは、有休はトップが率先して手本を見せる。また仕事の見える化や働きかたの自由度を高めて、21世紀型企业づくりをすすめ、先を見た経営で残業無し、有休取得率アップに取り組もうとまとまりました。

昨年度の我社の有休取得日数は、女性平均7日、男性平均2日でした。ご両親や家族の誕生日、記念日等を勤務カレンダーに事前設定し、男性取得日数5日を目指します。

女性経営者全国交流会への参加で、労働環境の整備の重要性、いきいき働ける環境づくりを学び、0、1%成長し帰路につきました。以上参加報告といたします。

第1回 新入社員フォローアップ研修会 開催報告

日時：7月25日(土) 13:30～16:45 会場：大村市民会館



今回、22名の会員企業の社員さんに集まっていたが、福岡県中小企業家同友会 権堂千栄実さんを講師としてお招きし研修会を開催致しました。

研修内容は二部構成で、第一部は「社会人、企業人としての心得を学ぶ」をテーマに、働くこと、仕事の存在意義を知ること、グループワークを中心に学びを深めていきました。キャリアとは何か？成長とは何か？そして経験と体験の違い。といった基本的なことを学べたと思います。

第二部は「社会人としての基本スキルを身に付ける」をテーマに、①企業イメージの企業理念については、働いている人が企業イメージをつくる。という前提の元、ビジネスルールとマナーの違い。ルールは守るべき決まり事であり、マナーは行うことではなく伝えること伝わるのが重要という言葉が腑に落ちました。そしてその事を身体で学ぶビジネスマナー実習で、自

分への気づきが生まれたのではないかと思います。

最後に、このような研修会を開催しましたが、仕事は「勉強」「研修会」で身につくものではありません。働いて身につくものである。という講師からの言葉が印象に残りました。次回、11月28日(土)にお会いしたときの成長振りを楽しみにしております。

開催にあたって、事務局始め各支部の共有委員の方々に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(文責 共有委員長 土井 幸喜)



第1回 中同協広報委員会 参加報告

日時：7月15日(水) 13:00～ 会場：大阪同友会事務局



まず、中同協広報委員会の新年度の体制についてですが、現加藤委員長が引き続き委員長を務める事とな

りました。

最初に情報創造について、立命館大学 名誉教授 二場邦彦さんより阪神淡路大震災で情報活動はどうだったのか報告をしていただきました。

報告の中で、震災直後は、同友会事務局が中心となり、バイク等で情報を把握し、状況に対応すべく金融機関、中同協やラジオなどで情報を発信した事で、その後の対応がスムーズになったそうです。情報を集め、集約し、発信する。この事を同友会が中心となって行った事がたいへん重要だと感じました。

中小企業家しんぶんについて、アンケート結果の報告もありました。しかしながら、163名のアンケート結果で、会員企業数を考えれば、少なすぎると思

ました。事前に各同友会に提出件数(最低限のアンケート回答数)を求めるべきだったと感じました。アンケート担当からも、最低500の回答が欲しかったと言われましたが、全国で4000件ぐらいのアンケート結果は欲しいと思いました。

最後に、気になる新e. d o y uですが、開発は順調に進んでいるようです。9月28日稼働開始予定です。長崎同友会でも、稼働開始と同時に勉強会を開催スタートしたいと考えています。活用方法については、機能を単純化し各同友会で自由に使える新e. d o y



uになりそうです。使いやすいe. d o y uになることを期待します。

今回、参加して、まだまだやれることがたくさんあるのだと気付かされました。長崎のポスター事業や会員名簿など、こちらが考えるより認知度が大きいのだと感じました。

(文責 情報広報委員長 永末 勝宏)

社会福祉法人 宮共生会(佐世保支部 原田会員) 経営計画発表会 参加報告

日時：7月25日(土) 会場：ホテルオークラJRハウステンボス



【参加者の声】

1. だんだん大きくなっていく組織を担う原田さんの責務は大きくなっていくばかりです。しかし、だからこそやり甲斐もあるわけで、持ち前の負けん気で更なる成長を祈念いたします。気になったのは、理事長と事務局長(原田さん)の息は合っていると思いますが、事務局長の立場とはどの位置か? 理事長交代はいつだろうか?

白山陶器(株) 松尾 慶一

2. 多くの事業所を展開されているので、日頃職員間の交流が出来ないと思いますが、今回の発表会でそれぞれの事業所の業務内容及び職員さんたちのプライベート等を知ることが出来ました。やはり、経営計画発表会の必要性を感じました。

昌明機工(株) 中島 禎雄

3. 今回の経営計画発表会は、佐世保支部会員の中では、6人目となる発表会でした。社会福祉法人宮共生会という大きな組織のため4時間を超えるものでした。

特に印象に残ったのは、職員全員に発表させた事でした。①仕事上の目標 ②私生活の目標 ③その他の目標等一人ひとりの考え方、生き方が解る内容の発表会でした。但し、発表会に参加して戸惑ったのが福祉の仕事ということも有りましたが、来賓に向かって話しているのか、職員に向かって話しているのか解らない部分がありました。私が考える発表会は社員職員に

向かって話すのが基本だと思います。来賓はあくまでも発表会の証人であります。しかし、初の経営計画発表会大変良く出来ていたと思います。来年再来年と継続してもらいたいです。原田さんお疲れ様でした。

(株)長崎地研 村山 隆之

4. 初の経営計画発表会おめでとうございます。“初”は大変なパワーが必要だったことは、私も初開催だったので良く解ります。各事業所の事業計画は各担当の方が自らの言葉で発表されており、今後が楽しみではと思いました。また、個人目標発表では飾らず自然体で発表され来年度を見据えてのものであり、皆さんのベクトルが一致されたようでした。事業計画(中期ビジョン)は、イメージをイラスト化することで、とても解り易く、働いている方々が夢を持てるものになっていました。

本日は、宮共生会の事が学べて大変貴重な時間となり有難うございました。来年度が楽しみです。

(株)福祉工房K's 豊福 和明

※参加報告 一部抜粋

(文責 佐世保支部 経営労務委員長 豊福 和明)



事務局企業訪問

長崎支部 浦上地区会（有）ガイシステム 多田長三郎さんにお話を伺いました。

（有）ガイシステムとして情報処理サービス、パソコン教室等をメインに事業を展開されている多田さんは、「NPO法人 フロンティア」の理事長も務められています。今回は、同法人が運営されている「就労継続支援事業所 フロンティアワークス」を訪問させていただきました。

フロンティアワークスは主に、

- ・印刷（パンフレット、冊子、名刺、ロゴ、年賀状、暑中見舞い等、各種挨拶状、ポスター、チラシ、その他 作成）
- ・HP作成、HPの作り方の指導
- ・データ入力（テープ起こし、ワード・エクセル作業、アンケート入力・処理）
- ・軽作業（箱詰め、封入作業、書類等仕分け作業、ラミネート加工（A3まで））
- ・掃除（入居ビルのオーナーからの依頼によるビル階段の掃除）等を行っています。

【フロンティア・フロンティアワークス設立の経緯】

多田さんは（有）ガイシステムで障がい者へのパソコン指導に取り組まれていました。また、奥様が福祉関係に携わっておられたということもあり、以前から関わっていた小規模作業所を専門的に支援していくことを決意し「NPO法人 フロンティア」を設立されました。定款には「障害当事者及び地域社会に対して、自立・教育・まちづくり等に関する事業を行い、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする」と掲げられています。

フロンティアワークスは、

2008年5月 法人設立と同時に開所

2011年4月 就労継続支援B型事業所へ移行

現在職員は、多田さんを含め、施設長他の3名です。

利用者は定員の20名で、パソコンは一人一台使用されています。

フロンティアワークスでは、利用者の皆さんを「メンバー」と呼ばれています。それは、「施設を作り上げていく仲間である」という多田さんの考え方から来ています。施設を伺い、「理事長」であり「指導員」でもある多田さんとメンバーの皆さんは強い信頼関係で結ばれている、私はそう感じました。しかし、そのメンバーさんが突然来なくなることがあるそうです。



（左より）多田さん、施設長の奥様、職員の馬場さん



理由は様々。家庭の事情であったり、メンバー間の人間関係のためだったりするそうですが、どうしても解決できない時ほど辛いことはない和多田さんは述べられました。

【同友会との出会い・関わり】

多田さんのスポンサーは福井出島地区会長です。福井さんとの出会いは、なんと多田さんが20代の頃に遡ります。当時コンピュータ会社に勤めていた多田さんが、「事業計画ソフト」の作成のために出向された税理士事務所に福井さんが勤務されていたそうです。出向中、その税理士事務所が専門学校を立ち上げることになり、多田さんはパソコンの指導員としてヘッドハンティングされ、二人は先輩後輩の仲に…（その専門学校とは、なんと「長崎情報ビジネス専門学校」！長崎支部 浦上地区会 中尾 陽一郎会員の企業です。）

時を経て、多田さんは1995年（有）ガイシステムを設立。先に独立されていた福井さん（当時は長崎南支部長）に挨拶に伺った所、同友会の入会を薦められ、「福井さんが薦めて下さる会なら間違いのない会だ！」と会の内容も何も知らないまま入会を即決されたそうです。

多田さんには、2002、2005～2007、2013年度と5期に渡って県の情報広報委員長を務めていただきました。会のホームページ作成、毎月の広報誌の発行等々たいへんご尽力いただきました。

今回、委員会活動での一番の思い出を伺った所、

「2005年度のe-doyuの導入、そして導入後に行った各支部を回っての研修」を挙げられました。理由は、実にたいへんでありながらも、今も続く多くの方との交流が深まり、同友会のすばらしさを本当に実感されたそうです。

【最後に】

メンバーさんの工賃アップをめざし、軽作業を多く受注できる様に日々研究を重ねられている多田さん。先程も触れましたが、理事時代から親しくされている会員の皆さんからは今も継続して多くの仕事の依頼を受けられているそうです。

同友会での多くの方との出逢いがあったからこそ今があると最後に熱く語られた多田さん。元情報広報委

員長として、地域への同友会理念の普及を今後も更によりよろしくお願い致します！

フロンティアワークス

長崎市扇町13-12 扇町ハイツ101

TEL: 095-842-7910

FAX: 095-894-9991

(有) ガイシステム

長崎市扇町11-14

TEL: 095-848-8711

FAX: 095-848-8722

(文責 事務局 山田 幸司)

シンポジウム「長崎県のアジアビジネス最前線」参加報告

日時：7月22日(水) 15:00～ 会場：ベストウェスタンプレミアホテル長崎

日本貿易振興機構(ジェトロ)長崎貿易情報センター50周年を記念したシンポジウムに参加をさせていただきました。

開会挨拶ではジェトロ 理事長の石毛博行さんより長崎から1,000km圏内に上海、台北、青島、ソウルといった大都市があり、地理的に非常に優位であること、そして農林水産物や食品といった豊富な地域資源はアジアビジネスにおいて可能性を大きく秘めていることを語られました。

続いてジェトロ 企画部総括審議役(地方創生推進担当)西本敬一さんより、「地域経済活性化に向けたジェトロの取り組み」について講演いただきました。

海外需要の増加は大きなビジネスチャンスであり、中小企業にとって海外ビジネス拡大が国内事業の拡大につながる、そこでぜひジェトロを活用して欲しいと語られました。ジェトロの強みとして海外76、国内44の合計120拠点があり、そこには膨大な海外情報が収集蓄積されており、海外経験が豊富な人材が多数在籍されているそうです。また、現在は地方創生を重点事業として3本柱(①海外から地方への投資への融資(IKEA等)、②農林水産物・食品の輸出促進、③中堅・中小企業等の海外展開支援)を掲げられています。②と③に関してはジェトロより中小企業に向けて、情報スキル・商談機会の提供・海外プロ(バイヤー、シェフ等)向けの情報発信、個別企業支援をほとんど無料で提供することができるということでした。

パネルディスカッションでは、タイで日本食レストランを経営する(株)小川屋 代表取締役 小川知孝さんより、ジェトロを活用してタイに出店された事例と、日本人駐在員に比べタイ人のお客様は値段を見ず

に良いものはどんどん注文をするため、客単価が非常に高いなどタイのマーケットの特徴をお話いただきました。

長崎県東南アジアビジネスサポートデスクの中洋介さんは、これまでのアジアビジネスといえば、中国の労働集約型工場やタイの自動車工場などが多くあったものの、最近では業種・規模・国などに多様性が出てきているといったトレンドを紹介。また、ジェトロ 企画部総括審議役の西本敬一さんは輸出・入だけでなくインバウンド(訪日外国人)が大きく伸びる可能性が長崎・九州にはあることを示されていました。

最後にジェトロや長崎県から県内企業に向けた支援制度や海外ビジネスの情報をぜひ有効に活用して欲しいと呼びかけがありました。

当日の配布資料は事務局にて保管をしておりますので、ご興味がありましたらお気軽にお問い合わせください。また、ジェトロのHPの情報も大変充実しているとのことでしたので、ぜひご覧ください。

(文責 事務局 田口 友廣)



会員活躍

長崎新聞 7月9日
佐世保支部
橋口 久 会員

「地域に根差した保険代理店」。保険商品を販売するだけ

一目標は。

「地域に根差した保険代理店」。保険商品を販売するだけ

母が1979年に創業し、2011年に来店型の保険代理店として営業を始めました。自動車保険や生命保険、年金保険の各種商品を多く取り扱っています。13年には、中国の大連市にオフィスを開設。中国に進出する日系企業の委任を受け、機械の損壊や従業員の重大疾病などに適した保険商品を選ぶ「中国保険ブローカー支援業」を展開しています。

でなく、地域住民が気軽に立ち寄れる場になりたいという思いから、事業所の敷地内で米国の菓子が楽しめるカフェを営業。同業者の注目度も高く、全国から見学者が訪れています。性別や国籍を問わない雇用を心掛け、多様な意見を取り入れながら「ダイバーシティ企業」として成長を続けたいです。今後も挑戦を続け、保険代理業の新しいモデルを生み出したいです。

地域根差す保険代理店



ブライアント株式会社 代表取締役社長

はしぐち ひさし
橋口 久 さん(42)

ブライアント株式会社（佐世保市日野町）
保険代理業を中心に、企業など顧客のリスクマネジメントを手掛ける。従業員20人。企業理念は「安心をシンプルに 安心を活力に」

新入会員の皆さんです＜7月入会・交代＞

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	諫早支部		
氏 名	しまさき ゆう き 嶋崎 雄樹		
企 業 名	(有)嶋崎建設		
役 職 名	取締役専務		
企 業 住 所	〒 854-1114 諫早市飯盛町久保 453-5		
T E L	0957-48-0146	F A X	0957-48-0809
業 種	総合建設業 (建築・土木)		
企 業 P R	諫早市飯盛町で建築・土木・水道工事を営む建設会社です。 造成・設備改修・間取り変更・増改築等のリフォームはお気軽にご相談下さい。		
スポンサー	張本 洋二		

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	さとう やすじ 佐藤 安司			
企 業 名	(株)PMC			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒857-0142 佐世保市野中町 18-1			
T E L	0956-49-6407	F A X	0956-49-8203	
業 種	新聞販売業			
企 業 P R	朝日新聞、日本経済新聞他の販売をしています。その他、地域の為になればと思い、シニアの為の何でも屋（サポート）をやっています。			
スポンサー	村山 隆之			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	なかお ゆうすけ 中尾 雄介			
企 業 名	(株)横島			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒 854-0063 諫早市貝津町 954-1			
T E L	0957-26-1898	F A X	0957-26-2398	
業 種	一般貨物自動車運送・産業廃棄物収集運搬			
企 業 P R	ダンプ車、重機運搬車で道路工事に関わる物資を運搬しております。			
スポンサー	張本 洋二			

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	の だ よういち 野田 洋市		
企 業 名	(株)野田武一商店		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒 859-3711 東彼杵郡波佐見町井石郷 2255-8		
T E L	0956-76-7000	F A X	0956-76-7100
業 種	卸売業（線香、ローソク、葬祭用品）、障がい者職業生活相談		
企 業 P R	一般的な線香、ローソクからオリジナル商品までおつくりいたします。		
スポンサー	原田 良太		

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	さかの ひろき 坂野 弘樹		
企 業 名	(有)坂野水産		
企 業 住 所	〒859-5152 平戸市鏡川町 1296-7		
T E L	0950-23-2496	F A X	0950-23-2496
業 種	水産業		
スポンサー	荒木 大輔		



<交 代>

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	たてやま こういちろう 立山 浩一郎		
企 業 名	(有)立山印刷		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0134 佐世保市瀬戸越 4 丁目 1413-19		
T E L	0956-40-9151	F A X	0956-40-7711
業 種	印刷業・ホームページ製作		
企 業 P R	一般印刷・名刺・封筒・チラシ等はもちろん、売れるチラシ やホームページ等も製作致します。		
前 会 員	立山 公造		



9月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 9月25日(金) 18:30
会 場 ギャラリーヘキサ
テ ー マ 創業から10年これからやるべきこと
報 告 者 (有)eプランニング 代表取締役
上村 靖 会員

今年8月で創業満10年を迎え、この10年を振り返り、創業からどうやってきたか？また今後どうやるべきか？という内容で報告していただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 9月17日(木) 18:30
会 場 メルカつきまち 5階ホール
テ ー マ 未定
報 告 者 長崎清和法律事務所 共同経営者
梅本 國和 会員

●大村支部

日 時 9月17日(木) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 「大丈夫、なんとかなる、気にするな」
～苦悩の先に見えてきたもの、幸せを求め学び続ける～
報 告 者 (株)諫早スイミング 代表取締役
平湯 湧一 会員 (諫早支部)

経営体験から、経営方針をもつことの大切さを学ぶ。

●諫早支部

日 時 9月16日(水) 18:30
会 場 長崎ウエスレヤン大学(移動例会)
テ ー マ 未定
報 告 者 (有)松田メンテナンス工業 取締役
松田 卓 会員

●島原支部

日 時 9月14日(月) 19:00
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ 『今までの経営と、これからのビジョン』
～何のために仕事をするのか～
報 告 者 (有)ワイエヌコンサル 代表取締役
横田 耕詞 会員

幼稚園を経営する旧深江町長の長男として生まれ、父の生き様からいろいろな学びを得、土地家屋調査士として事務所を開く。
堅実な経営から相談業務が増えて、スタッフの充実した雇用環境を図るため法人を設立。会社を経営をしていく中で思う。
何のために仕事をし、何のために生きているのか？～すべては次世代を担う子供たちのために～と人生の理念を掲げ、様々な事業プランを実行し続ける横田さんの『経営における選択と集中』、我々に出来る地域貢献は何か地域活性化への今後のビジョンとは何か、遂にバールを脱ぐ横田流『生き方のススメ』とは。今回は経営者の姿勢として違った観点から切り込みます。一同とくどご覧あれ!!

●佐世保支部

日 時 未定
会 場 未定
テ ー マ 未定
報 告 者 (有)山崎マーク
山崎 秀平 会員

●北松浦支部

日 時 9月24日(木) 19:00
会 場 池野酒店 セミナー室
テ ー マ 経営指針作成
報 告 者 上ノ原製茶園 代表者
上ノ原 宏二 会員

2月に行われた経営指針作成セミナーに参加して必要性を強く感じたこと。また、実際に経営指針書を作成し実践していること。

●五島支部

日 時 9月16日(水) 18:30
会 場 未定
テ マ 未定
報 告 者 (有)もり塗装工業 代表取締役
森 勝昭 会員

8月理事会 議事録 抜粋

8月6日(木) 天津包子館

開会挨拶－松尾代表理事

長崎全体を見たときに活気があるといわれます。長崎サミットに参加した際にも、多くの団体から活発な意見が出ていました。県北では佐世保サミットとして佐世保の活性化に向けて動いており、長崎県内で活発な動きがみられますが、地域ごとの活動が多いようです。長崎県の活性化を考えたときに、目指すべき方向はどの地域も一緒ですので、お互いの協力が必要ではないでしょうか。我々同友会は動きがまとまりやすい組織ですので、意見交換会をしながら協力していきましょう。

仲間づくりについて

※入会・変更・退会の承認について－11名の入会、2名の変更、3名の退会を承認

杉本仲間づくり委員長総括

県下一斉キャンペーン3デーは大変お疲れさまでした。皆様、ご協力ありがとうございました。退会者も出ておりますが、よりいっそう仲間づくりを進めていきましょう。また、仲間づくり委員会より提案させていただいておりました、20年カレンダーですが、一旦取り下げをさせていただき、島原支部を中心に県央の支部にて作成・使用を進めたいと思います。多くのご意見をいただきありがとうございます。新しい仲間づくり紙芝居の作成を山領さんに依頼しています。次の仲間づくり委員会の際に各支部から必要な部数をお聞きます。今後も仲間づくり宜しくお願いします。

協議・承認事項

1) 第2回経営フォーラムについて

(前回までの決定事項)

組織図

日程：11月6日(金)

会場：メイン会場…松浦シティホテル、サブ会場…漁村体験センター、きらら21生涯学習センター

記念講演者：山本有二氏

・テーマ「人を生かし、企業を創り、地方(まち)が輝く!!」

・第1分科会(経営指針づくり)…(株)愛しとーと

代表取締役 岩本初恵氏

・第2分科会(経営環境)…平戸市長 黒田成彦氏

・第3分科会(事業承継)…大村支部 林田 会員

・スケジュール

13:00～分科会 16:30～全体会 17:00～記念講演

19:00～懇親会 20:30 終了

・会費は7,000円とし、フォーラムノートの名刺広告とはらない

(今回提案事項)

・記念講演・各分科会内容、支部動員目標、来賓リスト、キャラバン予定、チラシ案

→(記念講演・各分科会内容)チラシにて確認

記念講演のテーマはフォーラムテーマと同様の「人を生かし、企業を創り、地方(まち)が輝く」

→(支部動員目標)経営フォーラム実行委員会からの提案を承認。オブザーバーへの呼びかけを依頼

→(チラシ案)意見・提案を受けチラシ案を修正後、理事会メーリングにて確認をする。

2) 金融機関への広報誌発送について

(各支部・地区会役員会での協議結果)

(上記を受けて三役会案)

継続して行ってみる。がちがちに固めず、訪問出来る方が訪問を重ね、その結果や取り組みを随時報告する

(松尾代表理事)

頭取には話が伝わっていても、支店長には伝わっていないということもある。地域に根差した同友会として、広報誌をお渡しすることで地域の支店長と関係づくりを行っていただきたい

→三役会案を承認、広報誌配布結果の報告と広報誌を持参する際にポスター掲示にご協力いただいているか確認を依頼

●青年経営者会

日 時 9月28日(月) 19:00
会 場 同友会事務局
内 容 飛田会員を囲んでのディスカッション

3) 役員研修会について

(前回までの決定事項)

9/26(土) 13:30～道具屋にて開催

(今回提案事項)

※当日資料配布

(峰事務局次長)

毎年、今年はどんな内容にしようか・誰に話していただくかと検討していたが、今後は開催意義にスポットをあて開催していきたい。中同協の役員研修会でも毎年同じ内容を行っており、去年は分らなかったことが1年経って話を聞くとしっかりと理解できるということもある。同じ内容を繰り返し学ぶことで、同友会の本質をしっかりと学んでいただきたい。今回は報告者として松尾代表理事、金井副代表理事、吉澤経営・労務担当委員長に内諾をいただいた。今後、シミュレーションを行い、内容をつめ、グループディスカッションテーマを決定していく

→当日配布資料の式次第案を承認、懇親会を1階のレストランで会費3,000円で行うことを確認

4) 会員の有料セミナー e. d o y u 掲示について

(三役会案)

●現在の記載事項

自社及び自社商品・取組事業(新規事業開始、新店舗オープン、展示会開催、セミナー開催 等々)

●変更提案内容

自社及び自社商品・取組事業(新規事業開始、新店舗オープン、展示会開催、セミナー開催(有料・無料問わず) 等々)

→三役会案を承認

5) 他支部の例会案内を流す際のルールについて

(三役会案)

最近の傾向として他支部会員による例会報告が増えてきたことに伴い、報告者所属支部にも例会案内を流すことが増えてきた。今までは慣例として報告者所属支部に案内を流す際、支部長に一言報告し流していた。

(例) 諫早例会にて大村支部会員が報告する際、大村支部にも諫早例会案内を流す。その際、諫早から大村支部長に一言案内を流す旨を報告

→上記に関してやり取りを簡素化するために e. d o y u で案内を流すが、報告者所属支部長には連絡せず、e. d o y u 案内メールを送らない設定にする

また、広報誌例会案内ページに、「他支部の例会情報はHP、e. d o y u からも閲覧、参加申込可能」という内容を付け加える

→(意見を受け) 情報広報委員会にて協議し、ルールを次回の理事会に提案する。また、広報誌例会案内ページに、「他支部の例会情報はHP、e. d o y u からも閲覧、参加申込可能」という内容を付け加えることを確認

6) 理事選考委員の承認について

→理事選考規定に基づき、理事選考委員を承認

2016年度「代表理事」推薦・自薦のお願いをFAXにて配信し、9月に第1回の理事選考委員会を開催することを承認

7) 事務局について

・事務局理念：行動指針(案)

→行動指針(案)を承認

報告・連絡事項

1) 7月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)－尾崎例会委員長

7月は例会出席率が高いところ・低いところの差が出ています。出席率向上に向けて各支部、地区会宜しくお願いいたします。また7/29佐世保支部にて例会の研修会を行い、例会の意義・流れ・グループディスカッションの流れを確認しました。希望があれば各支部に出張します

3) 中同協 主要行事の紹介

4) 7月9・10日(木・金) 第47回中同協定時総会参加報告

(松尾代表・峰事務局次長)

→お二人から報告いただきました。(詳細は広報誌をご覧ください。)

5) 7月24日(金) 県産業労働部との意見交換会開催報告
(宮田政策委員長)

→「人」をテーマに意見交換会を行った。活発なディスカッションを行うことができ、近い距離での意見交換会ができた。懇親会も盛り上がり、結果として非常に良い会となった。また、政策委員会ではこれまで条例の制定が主な活動だったが、軌道修正し長崎県に政策提言できるようにしていきたい。政策委員会のメンバーと各支部長に声掛けをし、政策提言のたたきを年末までに作成したいのでよろしくお願いします

6) 7月25日(土) 第1回新入社員フォローアップ研修会開催について
(土井共育委員長)

→初めてのフォローアップ研修会を開催した。福岡同友会にご協力いただき、権堂講師のもと、社会人としての心得と基本スキルを2部に分け学んだ。社員さんと共に学ぶ機会は必要だということも感じた。社員さんだけが研修で学んでも、社内に持ち帰りどのような実践するか難しいので共有することが必要。また、自身もルール・マナーについてしっかり学ぶことができ、良かった。新入社員同士が「久しぶり」と声をかけあい、コミュニケーションをとる姿も非常に良かった。今後、アンケートをレビューし次の研修会に生かしたい

7) 7月30日(木) 長崎県コンソーシアム参加について
(峰事務局次長)

→多くの参加者となった長崎県コンソーシアムだった。長崎同友会はリストの上位にあり、認知度の向上を感じた。まずは長崎県コンソーシアム立ち上げの意義の説明が行われた。その後各団体より報告があったが、今後のグループワークを通じ意見交換していきたい。また、中小企業の実態をしっかりと伝えるためにも、事務局からより多くの会員企業の訪問をさせていただけるようお願いします

8) 7月31日(金) 第1回女性部例会開催について

→6名から報告(掲載は一部)
(出口支部長) 女性の視点で作られた例会でした。新たな視点で学ぶきっかけになりました
(山口会長) 女性の勢いやパワーを感じることができた例会でした。青年経営者会も頑張らねばと刺激を受けました

9) 長大山口准教授との面談について: 景況調査分析の件: 回答数138
(宮田政策委員長)

→先立って行った景況調査では138名の回答(24%)をいただいた。年に4回景況調査を行い、分析・アドバイスをいただくために長崎大学山口准教授に依頼。山口准教授は大変乗り気。今後は大学と包括協定を結ぶか個人と契約するか報告会を開くかどういった方法を取るか検討しなければならない

10) 新e.doyuについて(峰事務局次長)

→9/28から新e.doyuが稼働。8/27のe.doyu管理者向け説明会(東京)に参加予定

11) 20年カレンダーについて(取り下げ)

12) 3カ月間会費滞納者についてーなし

13) その他

・(永末委員長) 新e.doyuに移行に伴い、データ消失の可能性もあるため、各支部でしっかりとデータ管理を依頼。HPトップ画像を各支部より募集。新e.doyuの勉強会を開催予定。

留意事項

1) 2017年 中同協役員研修会についてー5月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する(長崎開催)

2) 2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について(長崎開催)

ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→三役会案: ランタンと重ねることは避けるべき。また他県の情報を収集集中

決議事項確認

・11名の入会、2名の変更、3名の退会を承認
・第22回経営フォーラム関連
→(記念講演・分科会内容) 当日資料のチラシにて確認。記念講演のテーマはフォーラムテーマと同じ
→(支部動員目標) 経営フォーラム実行委員会からの提案を承認。オブザーバーへの呼びかけを依頼
→(キャラバン予定) キャラバンの予定を確認
→(チラシ案) 意見・提案を受けチラシ案を修正後、理事会メーリングにて確認をする。→次月の理事会で詳細な予算の提出を依頼
・金融機関への広報誌発送について三役会案を承認、広報誌配布結果の報告と広報誌を持参する際にポスター掲示にご協力いただいているか確認を依頼
・役員研修会について当日配布資料の式次第案を承認、松尾代表理事、金井副代表理事、吉澤経営・労務担当委員長に報告いただく。懇親会を1階のレストランで会費3,000円で行うことを確認
・会員の有料セミナーe.doyu掲示について三役会案を承認
・他支部の例会案内を流す際のルールについて情報広報委員会にて協議し、ルールを次回の理事会に提案する。また、広報誌例会案内ページに、「他支部の例会情報はHP、e.doyuからも閲覧、参加申込可能」という内容を付け加えることを確認
・理事選考委員の承認について理事選考規定に基づき、理事選考委員を承認。2016年度「代表理事」推薦・自薦のお願いをFAXにて配信し、9月に第1回の理事選考委員会を開催することを承認
・事務局について、行動指針(案)を承認

閉会あいさつー中島佐世保支部長

お疲れさまでした。暑いなか、佐世保にお集まりいただきありがとうございます。県北は8月に佐世保支部創立20周年記念式典、11月には松浦で経営フォーラムが開催されます。理事のみなさまには参加とご協力を宜しくお願いします

次回日程…9月3日(木) 場所…つくば倶楽部(予定)

会員消息

●企業住所等変更

池本 淳一 会員(長崎支部浦上地区会)

新企業名: (株)池本住宅設備
新役職名: 代表取締役
新住所: 長崎市滑石3-1-12
新電話番号: 095-894-1860
新FAX番号: 095-894-1861

永田 勝美 会員(長崎支部浦上地区会)

新住所: 長崎市下町2-11
新電話番号: 095-828-2339
新FAX番号: 095-828-2349

北川 秀昭 会員(長崎支部出島地区会)

新住所: 長崎市中川2丁目1-13 201号
新電話番号: 095-800-2091
新FAX番号: 095-800-2091

山口 絵理 会員(長崎支部出島地区会)

新FAX番号: 095-894-5558

舩 穂隆 会員(大村支部)

新住所: 大村市松山町196-4
新電話番号: 0957-47-6918
新FAX番号: 0957-47-6918

会 員 数 (8月1日現在)

	長 崎 (浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五 島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	30	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	23	550
現在	196	109	87	63	65	48	115	24	556

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支部・地区会名	入会年月
(株)山下建設	山 下 忍	長 崎 ・ 浦 上	1991年 6月
(株)ミクト	松 永 秀 文	諫 早	2014年 8月

訃 報

里 光彦 会員
(大村支部)

7月17日56才の若さでお亡くなりになりました。
心よご冥福をお祈り致します。

